

JAPIC NEWS

Japan Pharmaceutical Information Center

September
2025

No. 496

9

Contents

■ 巻頭言

「ヘルスケア産業によって、
日本の豊かな未来をつくる」

日本製薬団体連合会 会長 安川 健司 2-3

■ 最近の話題

真鶴駅前から、住民の暮らしのそばに

株式会社クリエイトエス・ディー
クリエイト薬局 真鶴駅前店 薬局長 水上 翔太 4-5

■ インフォメーション

医薬品集 発刊のご案内 6

JAPIC「医療用医薬品集 2026」CD-ROM付
9月5日発刊

JAPIC「一般用医薬品集 2026」9月1日発刊

JAPIC「医療用医薬品集 薬剤識別コード
一覧2026」8月21日発刊 7

JAPIC「医療用医薬品集 2026」更新情報
メールサービス(無料)申込受付開始

■ トピックス

JAPICサービスの紹介 8

医薬品類似名称検索システム
(新規医薬品名称検索：有料)

■ コラム

くすりの散歩道No.167

「日本酒とカフェインの“おいしい”距離感」

(一財)日本医薬情報センター 事業部門
医薬文献情報担当 中野 智 9

外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に
関する規制措置情報よりー(抜粋) 10

図書館だより No.422 11

情報提供一覧 11

JAPIC
Japan Pharmaceutical Information Center

一般財団法人 日本医薬情報センター

「ヘルスケア産業によって、日本の豊かな未来をつくる」



日本製薬団体連合会 会長

安川 健司 Kenji Yasukawa

本年5月に日本製薬団体連合会（以下、日薬連）の会長を拝命いたしましたアステラス製薬の安川です。日薬連は、地域別の14団体と、医療用医薬品や一般用医薬品等、各業態別の14団体から構成され、「医薬品工業の健全なる発達並びに国民生活の向上に寄与する」ことを目的として昭和23年に設立されました。

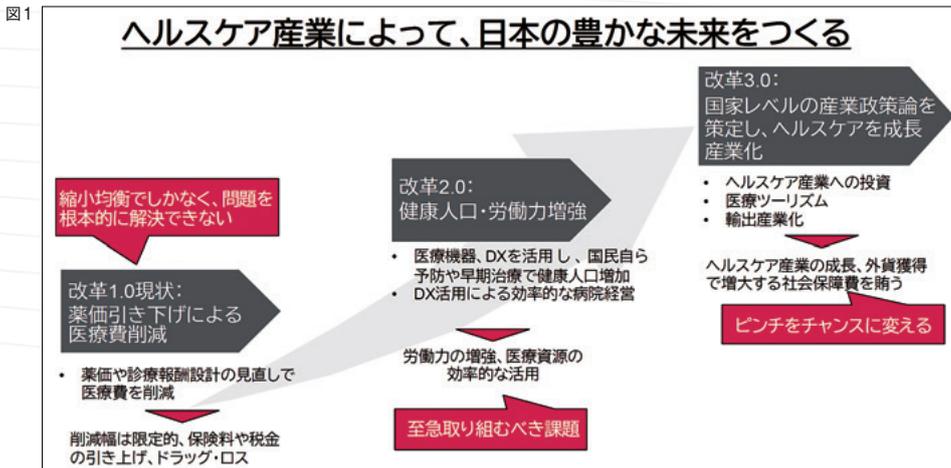
「ヘルスケア産業の目指す姿」

ヘルスケア産業は、国民の健康や生命を支える国の基盤産業です。しかし、現在の多くの要因が複合的に絡み合った結果、社会保障制度は持続性が危ぶまれており、ヘルスケア産業は大変厳しい状況におかれています。私なりに熟慮した結果、この状況を打破するためには、抜本的な改革が必要であり、後述いたします改革3.0のステージに進展させることで、ヘルスケア産業は日本の豊かな未来に貢献できると考えております。（図1）

まず、現在は改革1.0のステージです。昭和33年（1958年）に制定された国民健康保険法に基づく国民皆保険制度が実施されて60余年以上が経過し、その間に、衛生状態や栄養状態の改善等により、国民

が罹患する疾患は変化し、平均寿命も延びて人口ピラミッドも大きく変化しました。さらに、医学や科学の進歩に伴い最先端の治療手段も登場し、医療の高度化が目覚ましく進展するなか、医療コストは増大し続けており、現状のままでは、特に高齢者の医療費を支えている現役世代の負担増加は避けられそうにありません。このような状況に対し、政府は、社会保障費の実質的な伸びを、高齢化の伸びの範囲内に抑制するという政策を長年とっており、その主たる抑制策として薬価の引き下げが行われてきましたが、縮小均衡でしかなく、根本的な解決にはなっていません。そればかりか、度重なる薬価制度改革によって日本の医薬品市場の魅力を損なうことによるドラッグラグ・ロスを助長し、革新的な新薬が国民に届かないという弊害が生じています。さらには、医薬品の安定供給に悪影響を及ぼす一因にもなっています。結果として、国民が高品質かつ革新的な医薬品にアクセスできない事態に陥っています。

そこで、至急取り組むべき対策としては、国民が自らの健康に責任を持ち、限りある医療資源を有効活用する自助意識を育む改革2.0のステージです。予防や早期治療に対する自助努力の取り組みは、限りある



医療資源の有効活用のみにとどまらず、健康人口の増加、そして、労働力増強にも繋がると考えます。産業界は、革新的医薬品の創出はもとより、医療の効率化に資する新たなソリューションの創出に邁進することで、また、医療関係者の皆様には、医療DXの推進等を通じて、より質の高い医療をさらに効率的に提供いただくことで、限りある医療資源の有効活用に貢献できるのではないのでしょうか。

そして、最終的に目指す姿は、現在直面している危機をチャンスに変えるべく、国家レベルの産業政策を策定し、ヘルスケアを成長産業として育成する改革3.0のステージです。日本は資源が乏しいことに加え、少子高齢化が進展しており人口減少が避けられそうにありません。しかし、ヘルスケア産業の競争力を強化することで、医薬品等の輸出の増加や医療ツーリズムの増加等が実現できれば、ヘルスケア産業を外貨獲得産業として育成可能です。また、国の経済成長を牽引する基幹産業にもなり得ると考えます。そのためには、まずは政府による産業政策の策定と実行が不可欠です。

昨今のインフレによる原材料費や人件費等の高騰が、ヘルスケア産業が置かれている状況をさらに深刻化させており、ヘルスケアに関わる全てのステークホルダーは限界を迎えています。いまこそ全てのステークホルダーが、改革に向けて動き出すときです。これらの改革を一体となって行うことで、国民の健康維持・増進と経済成長の両立が実現し、かつ持続可能な社会保障制度、そして日本の豊かな未来が見えてくるはずです。

「世論醸成の重要性」

上記の改革を進める上で鍵となるのが、世論の醸成です。国民の多くは、現在の社会保障制度の持続性に対する漠然とした不安を抱えているものの、社会保障制度の財源や仕組み、さらには問題点までを正確に理解していないのではないのでしょうか。また、頻繁に起こる小さなリスク全てを公助に依存する意識が強い現状では、持続可能な社会保障制度の構築は難しいと言わざるを得ません。国民一人ひとりが、社会保障制度の概要と、本来、避けられない大きなリスクに対して備える互助システムである国民皆保険制度の根本的な思想を正しく理解した上で、持続的な社会保障制度の構築に向けて、自分事として真剣に向き合う必

要があります。そして、国民一人ひとりが、社会保障制度改革の必要性について声をあげていくことで、それが世論となり、政策に反映されていくものと考えます。このような世論醸成のためのキーワードとなるのが、サイエンスコミュニケーションとアドボカシーです。

「サイエンスコミュニケーションとアドボカシー活動」

医療の高度化や最先端の治療法が登場する際に、科学が専門でない方々にも、ヘルスケア産業が生み出すイノベーションの価値を、正しく理解いただく必要があります。そのためには専門用語を使わず、分かりやすく説明する必要があります。これがサイエンスコミュニケーションです。世論醸成の第一歩ですが、これを疎かにし、誤解を招くと、サイエンスの進歩を恐怖の対象と捉えられかねません。

そして、サイエンスを十分理解いただいた上で、現在の社会保障制度に関心をもって、その問題点や改善点について自身の意見を持ち、国民一人ひとりがそれぞれの立場から声をあげていく必要があります。先ほどもふれましたように、日本が置かれている状況を正確に理解している国民はごく少数であるなか、現状の社会保障制度の問題点や、限りある医療資源の有効活用の必要性等に対する理解を醸成するのが、アドボカシー活動です。

私が日薬連会長に就任した際に、ヘルスケア産業が世の中にどのような価値をもたらしているのか、今後もたらし得るのかを広く周知させるアドボカシー活動を、日薬連だけでなく、加盟団体、そして加盟団体に所属する皆様一人ひとりが地域社会で実施いただきたいと協力を要請しました。しかし、改革3.0のステージを目指すためには、日薬連を中心とした医薬品産業の取り組みだけでは不十分です。ヘルスケアに関わるすべてのステークホルダーが一丸となって取り組み、大きな改革の流れを巻き起こすことができれば、持続的な社会保障制度が実現できるはずです。

最後になりますが、近年、医薬品の品質、有効性および安全性の確保のため、科学的な情報の重要性が一層高まっているなか、貴センターの日頃の医薬情報の収集や分析、提供活動を通じた、国民の健康や医療の向上への貢献に感謝を申し上げるとともに、今後の更なる発展を祈念いたします。

真鶴駅前から、住民の暮らしのそばに

株式会社クリエイトエス・ディー
クリエイト薬局 真鶴駅前店 薬局長

水上 翔太 *Shota Mizukami*



はじめに

私の働いているクリエイト薬局真鶴駅前店は名前の通り、JR東海道線の真鶴駅から歩いて徒歩1分ほどの場所にあります。

神奈川県足柄下郡真鶴町という相模湾に突き出た小さな半島にある、真鶴駅前のドラッグストア併設の調剤薬局に勤務しており、真鶴町内には買い物ができるスーパーが1軒、ドラッグストアが2軒と比較的少ないため地域の方々の身近な存在として、処方箋対応だけでなくOTC医薬品や日用品を求めるお客様の相談まで幅広く対応しています。

真鶴町の人口は現在約6500人。町の高齢化率は全国平均の30%を大幅に上回る約45%であり、神奈川県では唯一過疎地域の指定を受けている自治体でもあります。

真鶴駅は観光客の玄関口でもある駅前と言いたいところですが、東京や横浜といった大都市からJRで乗り換えなし1本で来られるものの、近隣に観光地としても名高い熱海市や湯河原町、箱根町等観光に強い市町村に囲まれており、賑やかとは言えない昭和な地方の駅で、観光客というよりは地域住民の生活のための使われる駅としての役割が大きい駅となっています。

駅前ということで、当店舗は観光客ではなく電車での通勤・通学の前後に立ち寄れる生活の拠点であり、また高齢の方にとっては散歩ついでや買い物のついでに薬局に顔を出すのが日課になっている方も多くいます。

そのため処方箋をお持ちでない方でも、「湿布を買いに来ただけど、どれがいいかしら?」「飲み合わせ、大丈夫かちょっと見てほしい」といった処方箋以外の相談が日常の一部になっています。

「薬を渡す場所」ではなく「気軽に相談できる場所」へ
ドラッグストア併設の調剤薬局という特性上、来局

される方は真鶴駅を利用して病院帰りに処方箋を持ってくる方もいれば、生活の拠点として食品や洗剤を買いに来たついでに健康についての相談を受けたりなどもあります。

例えばですが、処方箋を持ってきてだけでなく「この前、草刈りをしていたら足がちょっと赤くなってかゆいからいい薬ある?」などと相談があったり。薬剤師として医療用・一般用問わず全体を見てアドバイスし、必要があれば受診をおすすめすることも。

「ちょっと聞いてもいい?」という言葉が、薬局のカウンターだけではなく、店舗内の陳列棚の間から飛んでくることもしばしばあります。それでも、それがこの町の薬局薬剤師の現状であり、そのような質問に対して、私は楽しみとして日々対応し過ごしています。

真鶴の町と、人と人との近さ

真鶴町は非常に坂が多く日本のリヴィエラとか呼ばれたりもしているらしく、平地が少なく農地や工場を建設する土地がないため、漁業が盛んな町になっています。

また山に囲まれている土地でもありコミュニティが非常に狭く、人と人の距離も非常に近く、住民同士が互いをよく知っています。薬局でもそれは例外ではなく、患者さんの体調や生活背景を含めて何故か知っており、ドラッグストアにくる顔は割と覚えてしまっています。

「〇〇さん最近みないけど元気かな?」「ちょっと最近、来てないね」といった会話も職場でよく出てきます。医療機関の門前ではなく、駅前で働いているからこそ見てくる「生活の動線」の中での薬剤師の役割を、日々感じています。

患者の健康と病院をつなぐ、日常の健康支援

門前薬局とは違い、患者さんはさまざまな医療機関から処方箋を持ってこられます。中には複数の

病院の処方箋を当店舗で一元管理をしている方もいるため、薬の重複や相互作用のリスクが高いケースもあります。そんなとき、薬歴や服薬状況を丁寧に確認し、必要に応じて医療機関に連絡を取ることもあります。

また、家族の代理で来局される方も多く、薬を渡すだけでなく、残薬の確認を行う上で服薬支援の相談されることも。一包化の提案や、飲みやすい剤形への変更についてご提案することで、ご家族の不安が少しでも軽くなるよう心がけています。

高齢化が高度に進むこの町では、健康管理の中心が家庭にあることが多く、その橋渡しをするのが私であり薬剤師の役割でもあると感じています。

薬剤師の専門性を患者目線で

医療職としての専門性はもちろんですが、それをわかりやすくかつ親しみやすく伝えることも、地域の薬剤師にとって大切なスキルだと思います。

たとえば、「ジェネリックって何が違うの?」という質問には、小学生でも理解できそうな内容で説明し、実際私が使ってみたり製剤見本を頼んで選んだ薬を在庫しているため、「私が実際に使ってみて、使いやすかったものを使っています」など、患者目線の言葉で対応しています。

医療職目線も大事ですが、患者目線で対応することを第一で行動しており、患者さんから「あなたに聞けば安心」と言っていただけでもいいですし、そういう時はやりがいを感じます。

医薬品が当たり前に入る時代ではなくなってきた

近年では、現場の皆さまも重々承知していると思いますが、当薬局でも当たり前のように医薬品が入るといった状況ではなくなっています。特に町内に当店舗含めて調剤薬局が3店舗しかなく、面処方ですし遠くからやってきた処方箋だとこの地域には全くないということもしばしば見受けられます。

抗生剤など、すぐに必要な薬に関しては近隣ではあまり出ないような薬だとしても必要最低限の確保は行っており、概ね対応はできています。しかし当然100%すべての薬を在庫しているわけではないため、抗生剤に関しては特に行いたくはありませんが、場合によっては代替薬の提案も行っています。

患者さんとしては、医師が処方したものを在庫がないからという理由で薬局から別の薬を提案されるため、不安を感じる方もいらっしゃると思います。しかし、近い存在であり信頼関係を築いているからこそ

安心して頼ってもらえるということもあり、このような状況であるからこそ、より身近であることが安心材料として、より重要になってくるのではないかといつも思っています。

この問題に関してはまだまだ油断できない状況のため、近隣の医療機関であれば在庫状況などを共有したりなど必要に応じて連携を行い、供給不安という非常に大きな課題に対して、密なコミュニケーションをとる必要があると考えられます。これに関しても、医療資源が乏しい地域だからこそ都市部と比較して相対的に大きくなってしまっている問題であるため、近隣医療機関とは目線をお互い近いものにして協力し、解決するべく行動することが私の医療職としての使命でもあると感じています。

都市部で働かないという選択肢

かつて私も都市部で働いており、効率とスピードが求められる日々を追われ、恥ずかしながら患者さんとの会話が流れ作業のようになっていた時期もありました。

今、この真鶴というゆっくりした時間の流れる土地での仕事と対応を通じて、薬剤師は暮らしのそばにいてこそ頼られて職能を発揮できる仕事なんだな、と実感しています。

医薬品の供給問題などもあり、近隣に多くの薬局がある地域とはちょっと異なった心配や気遣う点ももちろんあり、薬を処方箋通りに渡すことは重要ではありますが、そこだけでなく医療職である以前に人間として相手へ耳と心を傾ける姿勢が何よりも大事であり、それを自然に実践できる環境がこの町にはあり、多くの経験をさせてもらっています。

地方医療は決して不便な選択ではなく、他人に向き合える選択肢をより大きく提示してくれる場所だと思っています。

さいごに

真鶴町は広い海と、迫り来る山に囲まれた静かな町です。

私はいつも電車通勤をしており、職場の2駅前の早川駅から真鶴駅の間は、海が一面に広がる車窓が望め、それを見ると今日もここで誰かの役に立てるよう頑張ろうと思えてきます。

店舗に入ってきて早々、高齢の方が、ちょっと相談があるんだけど、と声をかけて頂ける、処方箋の有無に関係なく生活の一部として当店舗が溶け込んでいるこの町で、私は今日も働いていきたいと思っています。

Information

インフォメーション

医薬品集 発刊のご案内

JAPIC「医療用医薬品集2026」CD-ROM付 9月5日発刊

- ◇6月13日付の後発品薬価収載、6月25日入手分までの情報を収載(約18,000製品)。
- ◇医療用医薬品電子添文情報を有効成分(約2,300成分)ごとにまとめて掲載。
約1,400成分については「構造式」も掲載。
- ◇同一成分内での剤形の違い・製品の違いにより効能・効果が異なる場合はその違いを明記。
- ◇医療用医薬品電子添文情報・一般用医薬品添付文書情報・医療用医薬品識別コード情報を収録し、最新医療用医薬品電子添文へのリンク機能*を搭載した検索用CD-ROM(インストール版)を添付。
*インターネットを経由してJAPICが運営するiyakuSearch掲載の電子添文PDFを表示
- ◇3分冊(分冊1:五十音索引+本文前半、分冊2:五十音索引+本文後半、分冊3:その他索引+付録+薬剤識別コード一覧)でのご提供。
- ◇更新情報メールの無料提供(要登録)。

◆価格:14,300円(税込)・B5判



JAPIC「一般用医薬品集2026」9月1日発刊

- ◇国内流通の一般用医薬品、約10,000製品を収録(2025年7月までの一般用医薬品情報を収載)。「使用上の注意」の最新通知が盛り込まれた便利で使いやすい内容。薬局・ドラッグストア等におけるDI活動の資料等にご活用ください。
- ◇最新の添付文書を日本製薬団体連合会の委託を受け収集。国内流通の一般用医薬品をほぼ全て網羅。
- ◇医薬品ごとのリスク区分の記載を本文及び索引に掲載。また、一般用医薬品販売時に文書による説明義務がある第1類医薬品をまとめた「第1類医薬品一覧」、スイッチ直後品目・劇薬等の「要指導医薬品一覧」を収録。
- ◇付録には、重篤副作用疾患別対応マニュアル、国内副作用報告の状況、セルフメディケーション税制対象品目一覧、一般用医薬品のリスク区分一覧、一般用生薬製剤の使用上の注意、ブランド名別に成分の相違がよくわかるブランド名別成分比較表等の参考情報を収録。

◆価格:9,900円(税込)・B5判



〔お問合せ先〕事務局 渉外担当(TEL:0120-181-276、FAX:0120-181-461)

JAPIC「医療用医薬品集 薬剤識別コード一覧 2026」8月21日発行

- ◇ 識別コードから薬剤の商品名を調べられる一冊。
- ◇ 医療用医薬品集掲載の医薬品のうち、電子添文に識別コード・包装コードの記載のある品目を掲載。
- ◇ 原則として、電子添文に基づき記載。掲載項目は識別コード、色・割線、商品名(会社名)、一般名、規格単位、薬効からなり、医療用医薬品集本文の掲載ページも記載。
- ◇ ご利用しやすいよう薬剤識別コードの数字順、英字順、マーク順に配列。会社ごとのマーク一覧についても併せて掲載。
- ◆ 価格:1,100円(税込)・B5判



(お問合せ先)事務局 渉外担当(TEL:0120-181-276、FAX:0120-181-461)

JAPIC「医療用医薬品集2026」更新情報メールサービス(無料) 申込受付開始

- ◇ JAPIC「医療用医薬品集2026」CD-ROM付をご利用のユーザーを対象に、収録内容の更新情報を無料でご提供するサービスです。
- ◇ 新薬・その他重要な改訂(効能効果・用法用量・禁忌・重大な副作用等)等の情報を更新した医薬品集項目のPDFをwebサイトで閲覧・ダウンロードが可能です。

《ご利用方法》

登録フォーム(URL:<https://www.japic.or.jp/iryuu2026.html>)に必要な事項を入力し、お申込み下さい。ご登録頂いたメールアドレスに、更新情報を公開しているwebサイトのURLを毎月送信いたします。配信期間は2025年9月~2026年5月を予定しています。

第1回 JAPIC「医療用医薬品集」20XX 更新情報20XX年9月版
(番号XX-09-1-01 ~ XX-09-1-78)

20XX年9月30日までに一般財団法人日本医薬情報センターが入手した添付文書のうち、【効能効果】、【用法用量】、【警告】、【禁忌】、【原則禁忌】、【併用禁忌】、【相互作用禁忌】、【重大な副作用】の改訂を重要な改訂と考え、更新情報として提供させていただきます。また、薬価改訂など承認事項に関連した情報についても可能な限り追加しています。

*JAPIC「医療用医薬品集」20XXの該当ページに貼付してご利用下さい。

※下表コメント欄の「改訂指示」は、厚生労働省「使用上の注意の改訂指示」通知内容の反映を表しています。

※20XX年9月27日承認の新薬・報告品につきましては、近日中に更新情報として提供させていただきます予定です。

【新しく追加された製品】 【PDF一括表示】 ※表示に制限がある場合があります。

【更新情報20XX年9月版】 ▶ [更新履歴一覧ページ](#)

番号	項目表題	PDF	該当頁	改訂・変更箇所	コメント(厚生労働省「使用上の注意の改訂指示」等)
XX-09-1-01	アシルサルタン		43	【製品】、【組成】、【用法・用量】、【用法関連注意】、【併用禁忌】	アシル(錠10・20・40mg(武田薬品)の用法追加(20XX年9月)に伴う記載変更。製品欄にアシル(粒粒1% (武田薬品)を追加、それに伴う記載変更、併用禁忌 新設。

— 医薬品情報に関するデータベース —

医薬品類似名称検索システム（新規医薬品名称検索：有料）

■「医薬品類似名称検索システム」とは

医薬品類似名称検索システムとは、医療用医薬品（以後、医薬品）を対象に、医薬品の名称類似性により生じる製品取り違い防止の手段として開発、2008年3月にリリースしたシステムです。JAPICでは本システムの運用およびメンテナンスを行っています。

検索対象の医薬品名称データは、医薬品販売名を基に作成し、新薬承認後に更新しています。

新規名称を含む任意の医薬品名称と既存医薬品名称の類似性を検索する新規医薬品名称検索と、既に承認された医薬品名称相互の類似性を検索する既存医薬品名称検索があります。ここでは新規医薬品名称検索についてご紹介いたします。

■新規医薬品名称検索（有料）

新規医薬品名称検索は、新規に承認申請される医薬品の名称が既存の医薬品名称と類似したものにならないよう、既存の医薬品名称との類似性を確認する有料サービスです。新規医薬品名称検索の検索結果には、薬効分類名、製造販売業者名等の付加情報をリンクしています。

検索方法には、お客様ご自身でお調べいただくセルフ検索と、JAPICがお客様の代わりにお調べする代行検索の2種類があります。

本サービスのご利用は、国内に日本法人をもつ組織で、原則、承認申請をされる製薬企業を対象としております。

●セルフ検索ご利用の流れ

お客様ご自身で直接お調べいただくセルフ検索をご利用の際は、以下の要領でお申込みください。

STEP 1 「類似名称検索システム 新規医薬品名称検索申込フォーム」へアクセスし、必要事項をご記入の上、お申込みください。
(URL: <https://www.ruijimeisho.jp/Registration.aspx>)。*ご利用予定の前週末までのお申込みをお願いしております。

STEP 2 JAPICにて利用者登録を行い、登録内容を確認した後、有効期間を設定したパスワードを発行いたします。

STEP 3 パスワード交付時にお送りするURLから検索システムにアクセスし、検索してください。

*パスワードは月曜日から金曜日までの5日間有効です。有効期間中は何回でもご利用可能ですが、ひとつのパスワードでアクセスすることができる方はお一人です。同じパスワードを使って複数台のパソコンから同時にアクセスすることはできませんので、ご注意ください。

〈問い合わせ先〉 事務局 渉外担当 Email: similar@japic.or.jp

●代行検索ご利用の流れ

JAPICがお客様の代わりにお調べする代行検索をご利用の際は、以下の要領でお申込みください。また、代行検索では「新規承認医薬品類似回避フローチャート」(H17.10.17 厚生労働省 事務連絡)の追跡結果を検索結果に追加する「付帯サービス」もご利用いただけます。

STEP 1 Email: ruiji@japic.or.jp まで、メールでお問い合わせください。

STEP 2 代行検索申込用紙をお送りいたしますので、必要事項をご記入の上、ご返送ください。

STEP 3 JAPICにて検索を行い、原則、お申込み後1週間以内に検索結果をカンマ区切りテキストデータで納品いたします。

代行検索結果（付帯サービスなし）

	A	B	C	D	E	F	G
1	名称	edit	cost	htco	dlen	head	tail
2	シロテック		2	0.6	0.75	0	1
3	チャンビックス		3	0.68	0	2	0
4	シクロニック		3	0.63	0.75	1	1
5	バビロック		3	0.6	0.5	0	0
6	ピアテック		3	0.6	0.5	0	0
7	ピナロック		3	0.6	0.5	0	0
8	ピロニック		3	0.6	0.5	0	0
9	マジテック		3	0.6	0.5	0	0
10	マジヤピン		3	0.6	0	0	0

代行検索結果（付帯サービスあり）

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	名称	edit	cost	htco	dlen	head	tail	判定
2	シロテック		2	0.6	0.75	0	1	変更不要
3	チャンビックス		3	0.68	0	2	0	変更不要
4	シクロニック		3	0.63	0.75	1	1	変更不要
5	バビロック		3	0.6	0.5	0	0	変更不要
6	ピアテック		3	0.6	0.5	0	0	変更不要
7	ピナロック		3	0.6	0.5	0	0	変更不要
8	ピロニック		3	0.6	0.5	0	0	変更不要
9	マジテック		3	0.6	0.5	0	0	変更不要
10	マジヤピン		3	0.6	0	0	0	変更不要

〈問い合わせ先〉 事業部門 添付文書情報担当 Email: ruiji@japic.or.jp

本システムでの検索結果や医薬品名称の類似性を評価する指標に関するお問い合わせには、回答することができませんので、あらかじめご了承ください。また、よくある質問をFAQとしてまとめております。お問い合わせいただく前に一度ご覧ください。

URL: <https://www.ruijimeisho.jp/Faq/Question1.aspx>

くすりの散歩道

No.167

日本酒とカフェインの“おいしい”距離感

事業部門 医薬文献情報担当 中野 智 Tomo Nakano



朝はコーヒー、夜は日本酒。何気ない習慣のようでいて、気づけば私たちの一日は、この二つの飲み物にやさしく包まれているような気がします。目覚めの一杯が、頭と身体を今日に向かわせてくれる。反対に、夕方一杯は、ほどけていた糸をゆっくりと巻き戻してくれるような感覚があります。

カフェインは、中枢神経に作用して、眠気を取り払い、注意力や集中力を高めてくれる成分としてよく知られています。その主な作用はアデノシン受容体の遮断。こう書くといかにも薬理的な話に聞こえるかもしれませんが、夜にコーヒーを飲んでなかなか寝つけなくなった経験がある方なら、まさにその“教科書通りの作用”を体感したことになるでしょう。加えて、コーヒーだけでなく、緑茶や紅茶、さらにはチョコレートやエナジードリンクに至るまで、私たちの日常にはさまざまな形でカフェインが存在しています。だからこそ、その取り扱いには、心地よさの背後にある“作用”への理解も必要になってくるのかもしれません。

一方の日本酒はというと、古くから「百薬の長」として親しまれ、その存在は単なるアルコール飲料の枠を超えて、日本人の暮らしや行事の中に深く根ざしてきました。最近の研究では、日本酒に含まれるアミノ酸や有機酸、フェルラ酸、フェニルエタノールなどの香気成分に、血流促進や抗酸化、さらにはリラックス効果に関わる可能性があることが示唆されています。中には、GABA受容体との関与を指摘する報告もあり、ただ“酔う”というだけではない、日本酒特有の優しい高揚感の理由が、少しずつ解き明かされつつあります。

もっとも、どんなに魅力的な作用を持つものでも、過ぎれば毒となるのは万物に共通する性質です。

カフェインの摂り過ぎによる不眠や動悸、アルコールの過剰摂取が招く健康リスクは、言うまでもありません。とくに薬学を学んできた人間にとっては、「知っている」と「使いこなす」ことの違いに悩むこともあるかもしれません。頭ではわかっているけど、“ちょっと試してみたい”という誘惑に抗えなくなる瞬間だって、きっとあるはずですよ。

それでもやはり、朝の一杯が前向きなエネルギーをくれたり、夜の一杯が肩の力を抜いてくれたりするのなら、それは単なる嗜好品ではなく、自分の調子を整えるための“やさしい投薬”のような存在と言えるのではないのでしょうか。薬理と嗜好のあいだを、ゆるやかに、そして自然に往復しながら過ごす私たちの営みには、確かに“セルフメディケーション”としての側面があるように思います。

飲み物は、文化であり、癒しであり、そして私たちの毎日を静かに支えるパートナーでもあります。今日の一杯は、自分にとってどんな意味を持つだろうか。そんなことを少しだけ思いながら、カップを手取る朝と、盃を傾ける夜を、これからも大切にしていきたいですね。

参考：

新潟大学 日本酒学センター，“日本酒醸造産物中の成分とその健康作用に関する研究”

<https://sake.niigata-u.ac.jp/research/786/>

(参照2025-07-29)

薬読 薬剤師のエナジーチャージ,”第57回 医薬としてのカフェイン”

https://yakuyomi.jp/knowledge_learning/etc/03_057/

(参照2025-07-29)

外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より - (抜粋)

2025年7月1日～7月31日分のJAPIC Weekly News (No.1010-1014)の記事から抜粋

■米FDA

- FDA Safety Communication:米FDA,ELEVIDYS投与後の歩行不能なデュシェンヌ型筋ジストロフィー患者における急性肝不全による死亡を調査
<https://www.fda.gov/vaccines-blood-biologics/safety-availability-biologics/fda-investigating-deaths-due-acute-liver-failure-non-ambulatory-duchenne-muscular-dystrophy-patients>
- 米FDA, mRNA COVID-19ワクチン接種後の心筋炎および心膜炎に関し,必要なラベルの警告の更新について承認:FDA Safety Communication
<https://www.fda.gov/vaccines-blood-biologics/safety-availability-biologics/fda-approves-required-updated-warning-labeling-mrna-covid-19-vaccines-regarding-myocarditis-and>
- Drug Safety Communication:米FDA,ADHD徐放性刺激薬を服用している6歳未満の患者における体重減少リスクに関する表示の拡大を要請
<https://www.fda.gov/media/187347/download?attachment>
- 頭蓋ドリルのリコール:Integra LifeSciences,デバイスが分解するリスクがあるため,Codman Disposable Perforatorsをリコール
<https://www.fda.gov/medical-devices/medical-device-recalls/cranial-drill-recall-integra-lifesciences-recalls-codman-disposable-perforators-due-risk-device>
- 持続血糖モニター受信機のリコール:Dexcom, Inc.,スピーカーの不具合により,危険レベルの血糖値に関する警報音が鳴らない可能性があるため,特定のDexcom G6,G7,ONE,ONE+受信機を撤去
<https://www.fda.gov/medical-devices/medical-device-recalls/continuous-glucose-monitor-receiver-recall-dexcom-inc-removes-certain-dexcom-g6-g7-one-and-one>

■Health Canada

- Summary Safety Review - Nitric OxideおよびTreprostinil - 肺静脈閉塞性疾患患者における肺水腫の潜在的リスクの評価
<https://dhpp.hpfb-dgpsa.ca/review-documents/resource/SSR1750181972356>

■英MHRA

- Abrysvo▼(Pfizer RSV vaccine)およびArexvy▼(GSK RSV vaccine):高齢者のワクチン接種後におけるギラン・バレー症候群のわずかなリスクに注意
https://assets.publishing.service.gov.uk/media/686bb9d3fe1a249e937cbd64/DSU_RSV_vaccine_-_final.pdf

■スイス Swissmedic

- spironolactoneと持続的な嘔声ーホルモンによる副作用
<https://www.swissmedic.ch/swissmedic/en/home/humanarzneimittel/market-surveillance/pharmacovigilance/vigilance-news/spironolacton-und-persistierende-heiserkeit.html>

■シンガポール HSA

- Cellcept (mycophenolate mofetil):市販後データから特定された,新たなアナフィラキシー反応のリスク
[https://www.hsa.gov.sg/announcements/dear-healthcare-professional-letter/cellcept-\(mycophenolate-mofetil\)-new-risk-of-anaphylactic-reaction-identified-from-post-marketing-data](https://www.hsa.gov.sg/announcements/dear-healthcare-professional-letter/cellcept-(mycophenolate-mofetil)-new-risk-of-anaphylactic-reaction-identified-from-post-marketing-data)

■国際機関 WHO

- semaglutide医薬品の使用と非動脈炎性前部虚血性視神経症(NAION)のリスク
<https://www.who.int/news/item/27-06-2025-27-06-2025-semaglutide-medicines-naion>

■医薬品医療機器総合機構

- 医療機器自主回収のお知らせ(クラスI)(販売名:頸動脈用 ウォールステント モノレール)
<https://www.pmda.go.jp/files/000276230.pdf>
- ヒト乾燥硬膜の移植既往のある「脳アミロイド血管症」発症者が報告されたことへの対応について
<https://www.pmda.go.jp/files/000276324.pdf>
- 医薬品におけるニトロソアミン類の混入リスクに関する自主点検後の対応について
<https://www.pmda.go.jp/files/000276222.pdf>

JAPIC事業部門 医薬文献情報(海外)担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail(有料)もしくはJAPIC Weekly News(無料)のサービスをご利用ください(JAPICホームページのサービス紹介:<<https://www.japic.or.jp/service/>>参照)。JAPIC Weekly Newsサービス提供をご希望の医療機関・大学の方は、事務局 渉外担当(TEL 0120-181-276)までご連絡ください。

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。

この情報は附属図書館の蔵書検索 (<https://www.libblabo.jp/japic/home32.stm>) の図書新着案内でもご覧いただけます。

これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。

閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越しください。

〈配列は洋書、和書別に書名のアルファベット順、五十音順〉

書名	著者	出版社	出版年月
高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2025	日本老年医学会 編	一般社団法人日本老年医学会	2025年7月1日

情報提供一覧

2025年8月1日～8月31日提供

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新頻度
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free	https://iyakusearch.japic.or.jp/
1. 「一般用医薬品 (経済課コード)」 2025年7月分 (HP定期更新情報掲載)	8月 1日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. JAPIC 「医療用医薬品集 薬剤識別コード一覧 2026」	8月21日	2. 学会演題情報	月 1 回
3. 「JAPIC NEWS」 No.496 2025年9月号	8月31日	3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (郵送、電子メール等で提供)		4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
1. 「JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報」	毎 週	5. 日本の新薬	随 時
2. 「医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)」	毎 週	6. 学会開催情報	毎 日
3. 「JAPIC-Q Plusサービス」	月 1 回	7. 医薬品類似名称検索	随 時
4. 「JAPIC-Q 医療機器情報サービス」	月 2 回	8. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
5. 「外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)」	毎 日	9. ブルーブック連携データベース	随 時
6. 「JAPIC Weekly News」	毎 週	〈iyakuSearchPlus〉	https://iyakusearch.japic.or.jp/
7. 「感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)」	毎 週	1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
		2. 学会演題情報プラス	月 1 回
		3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日
		4. Where	随 時

外部機関から提供しているJAPICデータベース

〈株式会社ジー・サーチJDreamⅢから提供〉 <https://jdream3.com/>

〈株式会社日本経済新聞社から提供〉 <https://telecom.nikkei.co.jp/>



赤ジャピ50年の伝統を守り
薬剤師を中心とした
専門のスタッフが丁寧に作成しています。

2025年9月
発刊



本書の特長

- ◆2025年6月後発品まで収載
- ◆約50年の編集実績による信頼と使いやすさ
- ◆国内流通全医薬品の最新で正確な電子添文情報をお届けします！
- ◆「薬剤識別コード一覧」を収載
- ◆更新情報メールの無料提供(要登録)
- ◆CD-ROM付
- ◆分冊にて製作(ケース入り)

Windows版

CD-ROM収録内容

- 医療用医薬品集
- 一般用医薬品集
- 薬剤識別コード一覧
- 薬価情報
- 後発品の全情報
- 添加物情報
- 最新電子添文画像(PDF)の表示機能付

要インターネット接続。医療用医薬品は週1回、一般用医薬品は月1回更新

14,300円(税込) B5判 約4,700頁(本文)

一般財団法人 日本医薬情報センター ジャピック JAPIC 編集・発行
丸善出版株式会社 発売

上記書籍の他、電子カルテやオーダーリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データおよび病名データ)の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC(TEL0120-181-276)まで。



このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

ありあけかずら

学名: Allamanda cathartica L. 英名: golden trumpet. きょうちくとう科あらまんだ属。熱帯性・蔓性・半耐寒性常緑低木。原産地は南米ギアナ。花期は春から秋にかけて長く咲く。黄色の筒状の花をつける。Spiro[cyclopenta[c]pyran系 Allamdin (抗HIV活性)等含有。(hy)



JAPICホームページより
<https://www.japic.or.jp/>

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。